

神戸空港開港3周年記念事業

不動産近代化グループ 40周年事業

未来への贈り物

不動産 & 街空間のプロとして、いま地域のためにできること

みんなで作ろう ひまわり畑

はじめて

私たち不動産近代化グループは、神戸を中心に不動産業を営む有志の集まりです。

1969年の結成以来、現代社会の要請に応える不動産のプロでありたいと、

日々研究努力を続けています。

そして、2009年は40周年の節目の年。

これを記念して、2008年からひとつのプロジェクト「みんなでつくろう ひまわり畑」をスタートさせました。

企画意図

神戸の空の玄関口・空港島から、元気を発信!



「環境」をキーワードに、広い意味で地域づくりにつながる取り組みを実践することが、私たちの40周年記念事業の骨子でした。“エネルギーを消費し、環境に負荷をかけるものではなく、市民の皆さんや子供たちと遊び心のある発想”“いま、私たちができること”をテーマに生まれたのが、「みんなでつくろう ひまわり畑」プロジェクトです。

情熱の花・ひまわり畑がもたらす圧倒的な視覚効果

太陽の恵みを受けて一直線にのびる鮮やかな黄色の花ひまわり。まさに元気の象徴ですが、とりわけ神戸では、阪神・淡路大震災以降、復興感謝のシンボルフラワーとして大きな意味を持つものになっています。この花を、空と海を見渡す神戸の玄関口に、圧倒的な視覚効果を持つ一面の花畑として出現させることで、私たちの地域づくりへの情熱を表現するとともに、神戸の元気なイメージを発信します。



出会いや発見を通じ、子供たちとともに環境を考える

さらに、ただイメージづくりを目指すのではなく、そこで得られるさまざまな効果を多岐的・多面的につなげていきます。

期待される効果

- 【効果1】** 空き地を一面のひまわり畑にすることで、植物の持つ光合成の力により CO2 を削減。ささやかな削減量の、ほんの小さな一歩ですが、環境に関する視点を常に持ちながら、考え、行動することの意味を問いかけます。
- 【効果2】** ボランティアの皆さんや子供たちと一緒にひまわりの種まきをし、見守り育てていく時間を通して、その楽しさや難しさ、自然の営みを、ともに体験する機会を提供します。
- 【効果3】** 開花時には多くの見学者に楽しんでもらえるように、さまざまな角度の人的交流に力を入れ、発見や出会いの場づくりを行います。

進捗状況・計画

2008年

- ・多くの種類の中から、ゴッホが描いたあの名作のひまわりを選びました。アルルから取り寄せたソレイユ・サンプル・ゲランという種類の種を譲り受け、広大なゴッホのひまわり畑をつくることに決定しました。
- ・テスト的に、空港ターミナル東の空き地約50坪に、ボランティアの皆さんのご指導を受けながら、6月に種まきをし、メンバーが交替で世話をし、7月末から8月に少し早めの開花を迎えました。



2009年

- ・本番となる 2009 年は、前年収穫した種を使って神戸空港ターミナル駐車場西側の約2000坪の敷地を約3万本のひまわりで埋めつくします。



【主催】

不動産近代化グループ

事務局／〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目4-10

TEL：078-647-3074 FAX：078-647-3102

E-mail：himawari@fkg.ne.jp HP：http://www.fkg.ne.jp/

【後援】

神戸市

【協力】

辻 信一氏

株式会社環境緑地設計研究所 ひまわりプロジェクトのアドバイザー。

荒井 勳氏

NPO 法人ひまわり夢企画を運営

“ひまわりおじさん”と呼ばれ、2001年ポートアイランドの「花みなと KOBE」会場で30万本のひまわりを咲かせる。

現在も他府県からも依頼を受けて活躍中。

たくさんのボランティアの方々のご協力をいただきながら、プロジェクトを成功させ、これを期に記念事業のみにとどまらず、今後も環境問題や社会貢献・地域貢献に対して私たちができることを考え、実行していく足掛かりになればと考えます。

